

第1学年道徳科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇)
授業者 〇 〇 〇 〇

1 主題名

大切な友達だから・・・ 「B-(8) 友情, 信頼」

2 ねらいと教材

(1) ねらい

大切な友達だからこそ、お互いの人間的な成長と幸せを願って励まし合い、忠告し合える人間関係を築こうとする道徳的実践意欲や態度を育てる。

(2) 教材名

「短文投稿サイトに友達の悪口を書くと」 (東京書籍 新しい道徳1)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

お互いの人間的な成長と幸せを願って励まし合い、時には意見がぶつかることがあっても、忠告し合える人間関係は、互いの信頼を基盤としているからこそ、築くことができると考える。そのような関係を築くことで、いざという時に頼ることができ、切磋琢磨しながらお互いを高め合って生きていくことができる。中学生の段階では、心の底から打ち明けて話せる友達を得たいと願う気持ちが高まる一方で、相手に無批判に同調し、自分が傷つくことを恐れる余り、最初から一定の距離をとった関係しか持たないなど複雑な思いにとらわれる場合もある。このような時期だからこそ相手の内面的なよさ、ものの見方や考え方を理解し、悩みや葛藤を克服することで、より一層深い友情を構築していこうとする実践意欲や態度を育てていくことが重要であると考えられる。

(2) 生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

本学級の生徒は、中学校に入学して以来、宿泊研修や部活動など様々な体験を通して、友達と励まし合いながら辛いことも乗り越え、信頼関係を築いてきた。このように、互いに相手のよさを認め合い、信頼することの大切さを理解してはいるが、お互いを向上させるために必要な行動には、躊躇してしまう場面が見られる。例えば、仲の良い友達が、授業中に私語をしても、なかなか注意ができなかったり、級友の悪口を一緒に言ってしまうりする姿が見られる。そこで、自分が傷つくのを恐れて心を開かない表面的な友達関係ではなく、お互いの人間的な成長と幸せを願って励まし合い、忠告し合える人間関係を築こうとする実践意欲と態度を育てたい。

(3) 使用する教材の特質やそれを生かす具体的な方法

本教材は、同級生の悪口を「ネットに投稿してやる」と言い出した友達を心配する、主人公の心の葛藤や行動を取り上げている。主人公は、友達の言葉に対して、はじめは逆らえずに同調するのだが、夜になってにわかには心配になり、次の日に目が覚めると、あわてて友達に電話をするという内容である。友達の発言に対して、はじめは同調した主人公が、次の日に電話で注意を促したのはなぜかを考えさせることを通して、ねらいに迫りたい。教材の内容について、主人公の心情の変化を、それぞれの場面で、自分のこれまでの経験を基に振り返らせるため、分割読みを取り入れる。また、教材の内容は、ネットへの書き込みという、情報モラルに関する指導と関連している。インターネット上の法やきまりを守れずに引き起こされる弊害について触れながら、本時の指導に当たっていききたい。

4 学習指導過程

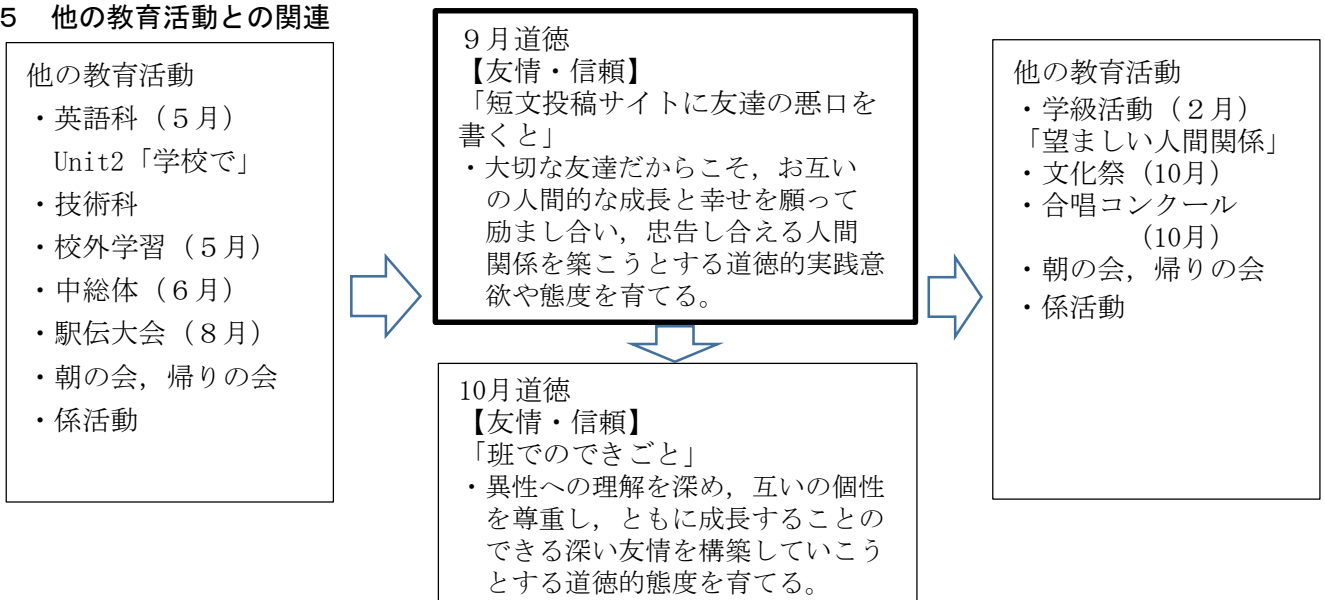
	<p style="text-align: center;">学習活動</p> <p>○主な発問 (◎中心発問) ・予想される反応</p>	<p style="text-align: center;">・指導上の留意点 (T 1)</p>
<p>導入 5分</p>	<p>1 主題に関わる問題意識を持つ。</p> <p>アンケート結果</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>○ 「友達がいる良かったな」と思う場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ趣味のことを話せる。 ・ 悩みを聞いてくれた。 ・ 体育でペアになって活動するとき。 </div> <p>2 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>友達と、お互いを高め合う人間関係を築くために、大切なことは何か。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に回答した内容と展開後段での考えを比較させるために、アンケート結果は最後まで掲示しておく。 ・ 生徒の回答の内容について、友達（自分）が何のためにそのような行動をしてきているのか（しているのか）を考えることを通して、本時の課題につなげる。
<p>展開 前段 12分</p>	<p>3 教材の前半の内容を把握し、主人公の心情の変化を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ネット上に人の悪口を書くと、どのようなことが起きるか知っていますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 炎上します。 ・ 訴えられて処罰されるかも知れません。 ○ コウタがなかなか眠れなかったのは、なぜでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ イチロウが心配になったからです。 ・ 自分の行動を後悔しているからです。 ・ 注意すべきかどうか迷っているからです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲の良い友達にはなかなか注意できないという場面を、自分のこれまでの経験を基に振り返らせるために、教材の前半のみ範読する。 ・ 情報モラルと関連して考えさせるために、法についても触れておく。 ・ 言うべきかどうか葛藤している気持ちを理解することを通して、どのように行動することがお互いのためになるのかを考えさせることにつなげていく。
<p>展開 後段 26分</p>	<p>4 友達と、お互いを高め合う人間関係を築くために、大切なことについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ もしも、あなたがコウタの立場になり、忠告してあげるとしたら、どのように伝えますか。演じてみましょう。 (一斉に2人ペアの後、教師と代表生徒) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>コウタ</p> <p>「昨日の件だけど、やっぱり他人の悪口を投稿するのはまずいと思うよ。」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>イチロウ</p> <p>「どうして。」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>コウタ</p> <p>「悪口を載せたら、誰が見ているか分からないし、訴えられた例もあるから。」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>イチロウ</p> <p>「そうか。やめた方がいいよね、やっぱり。」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ どのような気持ちでコウタ役を演じましたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役割演技をする時の留意点を示すことを通して、生徒が安心して役になりきれるようにする。 ・ 役割演技を通して、友達に忠告することの難しさや、自分のことを考えて忠告してくれた友達の思いに気付かせる。 ・ 意図的指名につなげるために、机間指導を行う。 ・ コウタ役を指名し、イチロウ役の教師と役割演技をさせることを通して、観衆役の生徒には、以下の演技を見る視点を与える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>コウタがどのような気持ちで自分の思いを伝えているか。イチロウはどのような気持ちで聞いているか。</p> </div>

	<ul style="list-style-type: none"> ・なんとかイチロウの行動を止めようと必死でした。 ○ どのような気持ちでイチロウ役を演じたか。 ・はじめは言われて反抗したかったけれど、だんだんコウタの気持ちが分かるようになりました。 ○ 見ていた人は、二人のどのような思いを感じましたか。 ・コウタが、説得するのに必死でした。 ・イチロウは、だんだん心配になって、コウタの言うことが正しいと思ってきたのではないかと思いました。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◎ 友達と、お互いを高め合う人間関係を築くために、大切なことは何でしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・友達を、良い方向に導こうとする思いやりです。 ・これからも、ずっと信頼し合える友達でいたいという思いです。 ・相手が間違っただ行動をしようとしていたら、注意してあげることです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・後半を範読することで、コウタがとった行動に対しての自分の考えを持たせ、道徳的価値についての理解を深めさせたい。 ・全員の前で発表させることで、大切な友達だからこそできる行動について考えを広げさせたい。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">終末7分</p>	<p>4 自己の生き方についての考えを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業を通して分かったこと、いいなと感じたこと、これからの自分に生かしていきたいことを書きましよう。 ・自分は、友達に注意できるか分からないけれど、お互いのためには言いづらいことも言ってあげることが大切だと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の生き方について考えを深めさせるために、書く活動を取り入れる。 ・導入で提示したアンケートの回答を再度取り上げることを通して、今日の授業での新たな気づきを共有する。

【評価】

友達との人間関係について、役割演技を通して、自分との関わりで考えようとしていたか。

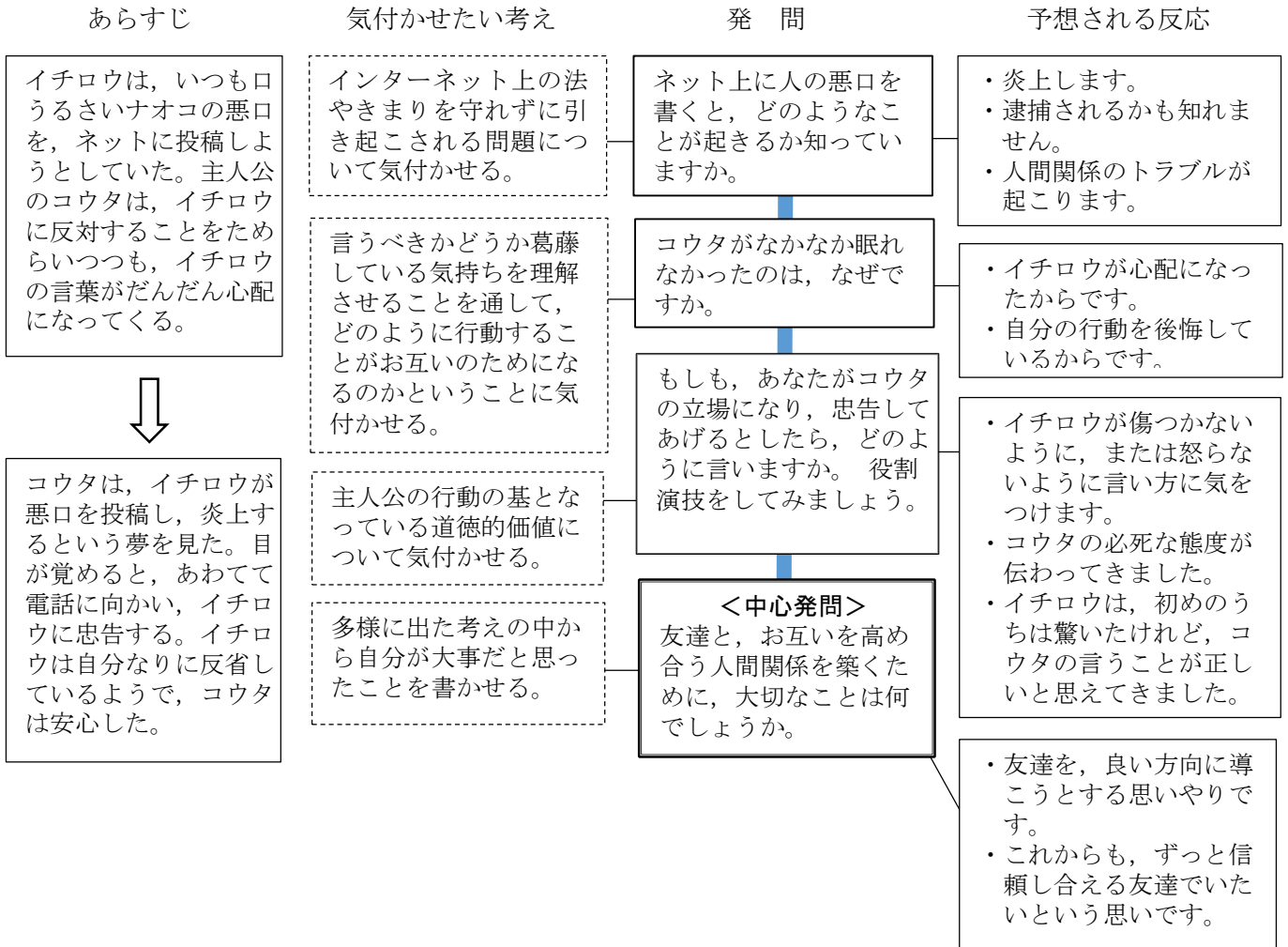
5 他の教育活動との関連



6 補充・深化・統合の視点【深化】

本時は、これまでの諸活動での体験を生かしたり、振り返ったりしながら、「友情」についての意義や自己との関わりについて一層考えを深める授業である。

7 教材分析・発問構成



8 準備物

教師：教科書，ワークシート，場面絵，板書用発問シート

生徒：教科書